

保護者様

篠山市立城北畑小学校

校長 藤本 健

学校感染症による出席停止について

陽春の候、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

さて、学校では児童の健康管理上、一覧表にあげております学校感染症にかかった場合、出席停止となり登校できません。学校感染症と診断された場合には学校に連絡をしてください。その後は医師の指示にしたがい、登校の許可が出ましたら所定の用紙『登校許可書(治癒証明書)』に記入していただき登校の際、ご提出ください。大変お手数をおかけしますが、ご理解のほどよろしく願います。

	病 名	期 間
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）及び特定鳥インフルエンザ	治癒するまで
第二種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く。）	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹（三日ばしか）	発しんが消失するまで
	水痘（水ぼうそう）	すべての発しんが痂皮化するまで
	咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核 髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医等において感染のおそれがないと認めるまで
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症	症状により学校医等において感染のおそれがないと認めるまで

* その他の感染症…ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、マイコプラズマ、伝染性紅斑（りんご病）、手足口病、伝染性膿痂疹（とびひ）、流行性嘔吐下痢症、感染性胃腸炎（ノロウイルス）

<感染症に関する参考資料>

出席停止感染症一覧表

	病名	おもな症状	感染経路	潜伏期	感染期間	出席停止期間	備考
第一種	インフルエンザ	高熱(39~40℃) 関節や筋肉の痛み 全身倦怠感 咳・鼻水・のどの痛み	気道 接触 飛沫	1~3日	発病後 3~4日	熱が下がって 2日を経過する まで	肺炎や脳炎などの合併症 に注意。 発熱や意識の様子に 気をつける。
	百日咳	コンコンという短く 激しい咳が続く	飛沫 気道	1~2週	1~4週	特有の咳が 出なくなるまで	3歳以下の乳幼児は 肺炎を合併することがある
	麻疹 (はしか)	発熱・鼻汁 目やに・発疹・くしゃみ	飛沫 気道 接触	9~12日	発疹が出る前5日~ 出た後3~4日	熱が下がって3日 を経過するまで	
	結核	発熱・咳・喀痰・喀血 疲労・体重減少など	気道	4~6週			結核性髄膜炎に注意。 圧倒的に肺結核が多い。
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発熱 耳の前下部の腫れと 痛み(押すと痛む)	飛沫	2~3週	耳下腺の腫れる前 7日~腫れた後 9日間	耳下腺の腫れが 治まるまで	思春期以後の感染では、 睾丸炎、卵巣炎の合併に 注意。
	風疹 (三日はしか)	38℃前後の発熱 発疹 リンパ節の腫れ	飛沫 気道	2~3週	発疹が出る前7日~ 出た後7日間	発疹が 消えるまで	妊娠初期の感染は、 リンパ節の腫れ 奇形児出産率が高い。
	水痘 (水ぼうそう)	発疹→水泡→ かさぶた 軽い発疹	飛沫 気道 接触	2~3週	発疹が出る前1日~ すべての発疹が かさぶたになるまで	すべての発疹が かさぶたになる まで	
咽頭結膜熱 (プール熱)	38℃~40℃の発熱 のどの痛み・目やに 結膜の充血	気道 接触 (結膜)	5~7週	発病してから 2~4週間	主な症状がなく なって2日を経過 するまで	医師の許可があるまで プールには入らない。	
第二種	流行性結膜炎 (はやり目)	目の異物感 充血 まぶたの腫れ 目やに 瞳孔に点状の濁り	接触	4~10日			医師の許可があるまで プールには入らない。
	急性出血性結膜炎 (アボロ病)	目の激しい痛み 結膜が赤くなる 異物感・涙が出る	接触	1~2日	発病してから 5~7日		
	腸管出血性大腸菌 感染症(O-157)	激しい腹痛 水様性の下痢、血便	経口	4~8日			溶血性尿毒症症候群 などの合併症に注意。
	ヘルパンギーナ	高熱(38~39℃) 咽頭発赤・のどの奥に 白い小さな水泡疹	飛沫 接触	2~4日	主な症状が 治まるまで		
	溶連菌感染症	発熱(39℃前後) 発疹・扁桃発赤・腫腸 咽頭痛・いちご舌など	飛沫	2~5日	主な症状が 消失するまで		急性腎炎・中耳炎 リウマチ熱に注意。
	異型肺炎 (マイコプラズマ)	発熱・乾性の激しい咳 が続く 咽頭炎 胸部レントゲン陰影	飛沫	2~3週			高熱後、長い咳に注意。
	★ 伝染性紅斑 (リンゴ病)	両頬に少し盛り上がった たんじましんのような 発疹。発熱	飛沫	1~2週	(症状出現後は 感染力が弱い)		妊婦は感染しないよう 流行期には注意が必要。
	★ 手足口病	軽い発熱(2~3日) 小さな水泡が口の中や 手足にできる	飛沫 経口 接触	3~5日	のどから1~2週間 便から3~4週間		水遊び実施期間中は 完治証明書の提出が 必要
	★ 伝染性膿痂疹 (とびひ)	からだに水泡ができる 一破れて膿が出る。 かゆみ	接触 (水泡の 分泌物)	2~5日	水泡から膿の出る間		
	流行性嘔吐下痢症	突発の嘔吐・下痢を 主症状とする。	経口 飛沫	1~3日	主な症状が回復する まで		主な原因はロタウイルス 小型球形ウイルス(SRSV) アデノウイルス(40、41型)
感染性胃腸炎 (ノロウイルス)	吐き気・嘔吐・下痢 腹痛・発熱	経口 飛沫	1~2日	通常3日以内で回復		効果のある薬は無い 脱水症状に気をつける 症状改善後も注意が必要	

出席停止日数は症状に応じて医師が判断します。

※ 第二種・第三種(★印は除く)感染症・ノロウイルスは出席停止とします。完治後の登園については、**医師の完治証明書**が必要です。